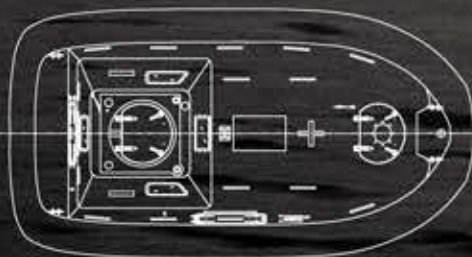
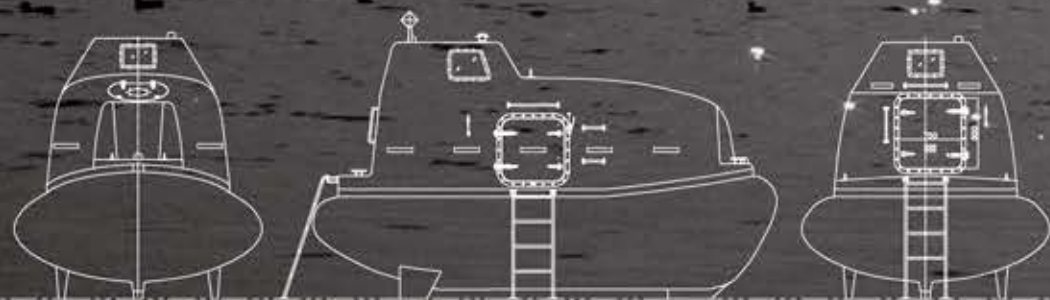


Mizuno
marine

LBS25+F



■ 船体スペック

	全長	全巾	全高	船体重量	定員
LBS25E+F	5.61m	3.03m	3.13m	2000Kg	25名

船体スペックは変更になる場合があります。

■ 船体主要装備品

バッテリー	マリントイレ
バッテリーメインスイッチ	トイレルームライト
バッテリーチャージャー(AC100Vで作動)	エントリドア水密タイプ(2カ所)
ソーラーチャージャー	天井ハッチ水密タイプ(1カ所)
陸電ケーブル&ソケット	ビルジポンプ(ハンドタイプ)
サーチライト	フロント&サイドウィンドウ
キャビンライト	シートベルト(定員分)
方位コンパス	パウクリート(2カ所)
マーキングフラッシュライト(夜間捜索用)	スタンクリート(2カ所)
船体リフティング用フック	パドル&パドルホール左右

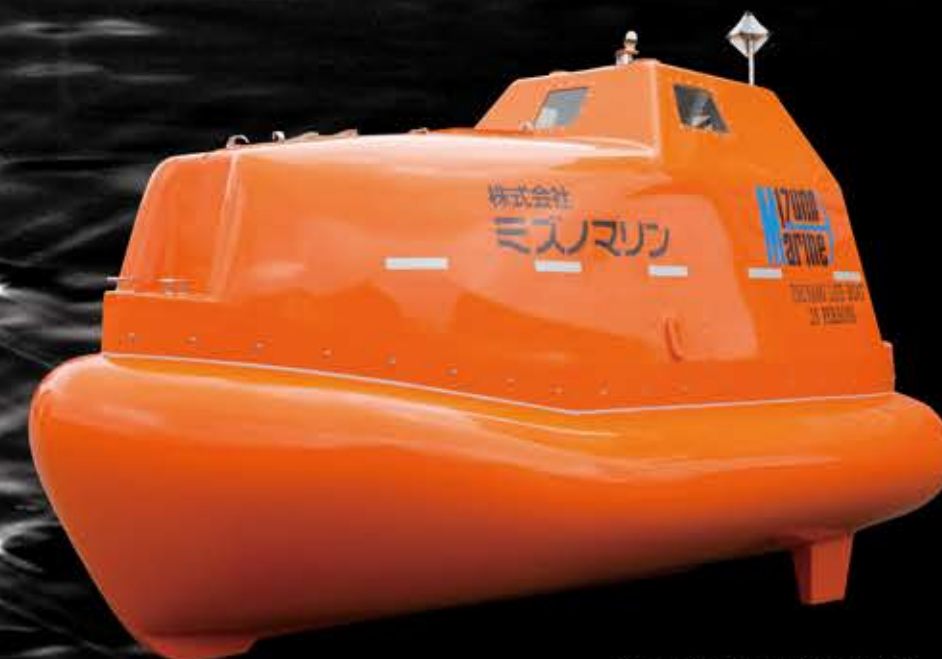
装備品の名称、仕様、設定は変更になる場合があります。

■ 救命艇シェルターの特徴

SOLAS基準(海上における人命の安全のための国際条約)を基に強度計算されたLBS25にスタイリッシュな大型フェンダーを装着し、更なる強度アップを実現したモデルです。万が一水上で横転しても自動復帰するセルフライディング設計。LBS25で培った不沈構造にプラスしてフェンダー部にも浮力体を充填し、さらなる耐衝撃性能と浮力性能を同時に向上させた最強モデルです。

LIFE BOAT SHELTER

救命艇シェルター



Mizuno
marine

設計・製造

株式会社 ミズノマリナ

〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目12-15
TEL.06-6863-5233 FAX.06-6863-5029
e-mail info@mizuno-marine.co.jp http://www.mizuno-marine.co.jp

ClassNK
ISO 9001 JAB

OSAKA
地域創造
FUND
COOPERATION

GOOD DESIGN AWARD
2016年度受賞

津波災害による被害の低減

震災発生から津波到達までの時間が短時間とされるハザードマップエリアにおいて防災、減災対策は急務と言える。安全な高台への避難ルート確保が困難な場合、避難タワーの設置が安全とされているが、建設コストとスペースの問題から即決が困難なエリアが無数にある。津波被害から生存率を劇的に高める方策として救命艇シェルターの設置をご提案します。

LIFE BOAT SHELTER

救命艇シェルター

東日本大震災の翌年、ミズノマリンは救命艇シェルターの開発に着手。設計のベースとなるのは大型船に搭載されている救命ボートです。高波で横転しても艇体が自然復帰するセルフライティング構造や、船体に大きなダメージを受け、万が一完全に浸水しても沈まない不沈構造は全てSOLAS(海上人命安全条約)のルールで定められた安全性で、当社の救命艇シェルターはそれらの条件を忠実に再現しています。

■LIFEBOAT SHELTER LSB25+F の特徴

LBS25+Fには新開発のスタイリッシュ大型フェンダーが標準装備。衝突時の乗員ダメージ軽減と艇体強度及び浮力アップを目的として開発されました。漂流時に建物や障害物と接触しても発泡剤注入タイプのフェンダーがソフトに割れて衝撃を吸収する設計で2016年世界に先駆けて発表されました。安全性のみならず、優れたデザインが高く評価され、2016グッドデザイン賞を受賞いたしました。自動車1台半の設置スペース(面積比)で大人25人の人命が守られる省スペース。船体中心にある1点吊りクレーン用フックと自立式船体の組み合わせで設置場所の変更も簡単です。



守れる命がある

MIZUNO
MARINE

近未来に必ず発生するとされる南海トラフ巨大地震では30mを超える津波の発生が想定されている。ハザードマップエリアに位置する施設、事業所は危機対応に対する対応が急務である。

- 震災発生から津波到達までの限られた時間内に「いかにして大切な人命を守るか」が救命艇シェルターの開発コンセプトです。

